

～被災地復興支援～

## 宮城県南三陸町で稲刈りボランティアを行います

MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社(社長:江頭 敏明)は、被災地の復興支援を目的に、10月13日、14日の2日間にわたって、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町の水田で稲刈りボランティアを行います。2011年7月～9月に行った水田の瓦礫撤去作業や、2012年6月の田植えを経て、今回が震災後初の稲刈りとなります。本活動は、水田を再生し、年間を通じて田植えや稲刈りを行うことで、被災地の支援に長期的かつ安定的に関わっていくことを目指したものです。MS & ADインシュアランス グループでは、今後も、グループを挙げて被災地の復興支援を継続していきます。

### 1. 活動内容

- (1) 日 時 : 2012年10月13日、14日
- (2) 場 所 : 宮城県本吉郡南三陸町
- (3) 作業内容 : 「ふゆみずたんぼ( )」でのササニシキの稲刈り
- (4) 作業範囲 : 約5,500m<sup>2</sup>
- (5) 提携先 : NPO法人たんぼ

冬の期間に、水田に有機物を多く含む水をはる農法。春まで水を貯めておくことで、稲の切り株やワラなどの有機物が水中で分解され、微生物や藻が発生します。抑草施肥効果により、多様な生き物が集まる豊かな水田へと生まれ変わります。

### 2 「たんぼボランティア」について

<稲刈りに至るまでの活動>

活動日	2011年7月～9月	2012年6月2日、3日
活動内容		
	たんぼの瓦礫撤去、草取り、畦道作り、水路の復元	「ふゆみずたんぼ」でのササニシキの田植え
参加者数	104名	69名

### 3. グループ会社での被災地復興支援活動

グループ傘下の三井住友海上では、たんぼボランティアでの活動を通じ、生産者と消費者をつなぐ取り組みとして、2012年3月から、毎月11日を「福幸米(ふっこうまい)」の日と定め、全国5カ所の社員食堂で化学肥料・農薬5割減のササニシキ「福幸米」を使用したメニューを提供しています。米1袋につき200円が寄付となり、津波の被害にあった水田の整備に活かされます。また、今回収穫する米も「福幸米」として一般に販売される予定です。

以上